



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和5年 11月号

～ 150th Anniversary ～

素敵なお花を咲かせよう

校長 高山 和宣

お天気に恵まれ、10月14日(土)に末吉カップが開催されました。歴史のある末吉小学校は、今年が150周年記念大会となりました。4年ぶりに全学年が一堂に会して行う形をとり様々な変更点がありましたが、どの子どもも、この末吉カップに向けてたくさんの準備や努力をしていました。「学校から帰った後、窓に映った自分の姿を見ながら演技の練習をしました。」「お家の人に手伝ってもらって、ヨーイドンの練習をしました。」と話してくれる人もいました。

また、150周年記念の末吉カップを盛り上げようと、旗をつくったり休み時間にも係の準備をしたりする人がたくさんいました。

演技が上手いかなかったり、上手に走れなかったりすることがあったかも知れませんが、末吉カップに向き合い、懸命に努力や準備をしてきた子どもたちです。本番の日の前に既に大きな花を咲かせています。目標に向かって努力できた事こそ、この末吉カップの最大の成果だったと言えるのではないのでしょうか。当日の保護者や地域の皆様の応援は子どもたちにとってとても励みになったと思います。お忙しい中多数の皆様にお越し頂きました。本当にありがとうございました。

さて、その末吉カップの興奮が冷めやらぬ中、今月は末吉小学校150周年記念式典があります。

明治6年に開校して以来、本校はこの長い歴史の中で、戦禍や震災をはじめ、ここ数年の新型コロナウイルスの対応に至るまで多くの困難を乗り越えてきました。この150周年を迎えることができますのも、ひとえに地域の皆様、保護者の皆様、卒業生の皆様、また、歴代の教職員の皆様、そして、今学校に通っている子どもたちなど多くの皆様が末吉小学校に愛着をもち、温かい支援をくださったからこそ感謝しております。

子どもたちは昨年度より、150周年に因んで本校にまつわる様々な学習を行ってきました。今よりもっと末吉小学校やこの地域のことを知り、もっともっと好きになって次の世代につないでいて欲しいと願っています。

これからの時代は見通しがもちづらく、これまで常識とされていたことも通用しなくなるかもしれません。その中であっても、未来を担う末吉の子どもたちが、人として大切な「主体性」そして「自分や相手を大切に作る心」をもち続けて欲しいと願っております。この150周年はこれからの新しい歴史の始まりの1ページでもあります。今日までの歴史をもとにして新たな末吉小学校を皆様ともにつくりたいと考えております。今後とも変わらぬ温かいご支援をどうかよろしくお願いいたします。



学校の電話は、平日の夜間および早朝(17:15～7:45)、土、日、国民の祝日、長期休業中の閉庁期間等はメッセージ対応としております。ご理解ご協力をお願いいたします。

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sueyoshi/>